

## 心のもしび

2021年  
5月のテーマ  
親と子ども暗いと不平を言うよりも  
すすんであかりをつけましょう

## 一番大事な宝物

詩人 岡野絵里子



幼い子と一緒に遊んであげて仲良くなると、大事にしている宝物を見せてくれることがある。とても嬉しいものである。

ユウ君は、時々我が家に遊びに来てくれる三歳の男の子だ。ある日、食事を終えた大人たちがなごやかに座っていた時、ユウ君がそばに来て、私をじっと見ていたことがあった。何だろうと思っていると、並んでいる御両親の間に立ち、二人に寄りかかるようにして「ユウ君の：：ユウ君のパパとママ！」と誇らしそうに囁いた。ああ、一番大事な宝物を教えてくださいのだから、と分かって私は胸が一杯になった。幸福がそこに姿を現したの見えるようだった。御両親は照れながら恐縮しておられ、そしてとても嬉しそうだった。ユウ君は小さな掌を御両親の肩において、顔を輝かせていた。

人は人から生まれて来る。自分を産んでくれた人や育ててくれた

人を親と呼び、地球上には、無数の親子関係が出来る。親子の間に愛情があればまた確執も生まれ、お互いに苦しみ悩むのは珍しいことではない。

創世記では、父なる神が弟アベルの献げ物だけを受け取り、兄カインを拒む。カインは理由が分からず、理不尽な父だと怒り、苦しんだに違いない。だが、かつて私たちは皆幼くて、

ユウ君と同じ輝く喜びの中に、たとえ一瞬でも、いたのである。悩み苦しむ時、試練にあった時、その喜びの記憶は、私たちを支えてくれるようだ。

ユウ君のように、世界中の子どもたちが幸福に会えるよう祈りたい。今満たされている子も満たされていない子も、どうかいつも喜びに輝く顔でいられますように。



ムリーリヨ「天と地の三位一体」

心のもしびホームページ (<https://www.tomoshibi.or.jp>)心のもしび  
運動

心のもしび運動は、社会の向上と、皆様の幸せと永遠の救いを目的に、ラジオ・機関紙などを通じて神のみ言葉を伝えていきます。

この運動は、援助会員の皆様の献金によって維持されています。

この運動に賛同くださり、援助会員になつてくださるかたは、住所・氏名を左記へお知らせください。くわしい案内書をお送りいたします。

〒六四八〇〇六  
京都市中京区

河原町三条上ル

電話 075-211-9341

心のもしび運動

YBU本部

振替口座

〇〇四〇一五二四三